

# 高田援護室長の模型部屋(第23回)

皆さん、こんにちは。9月に入り、すっかり秋らしくなってきました。食欲の秋、スポーツの秋などといいますが、皆様はどんな過ごされ方をしていますか？そうそう、秋といえば、採用試験の秋です！自衛官候補生をはじめ、一般曹候補生、航空学生、防衛医大、防衛大・・・受験される方も多いのでは？あ、**自衛官候補生は9月以降も採用試験を実施しています**ので、新潟地本かお近くの自衛隊地方協力本部、地域事務所等にお問い合わせくださいね。

話は変わりますが、夏に富士総合火力演習が開催されましたが、かつてこの演習に無くてはならない装備品がありました。それは・・・

## 64式対戦車誘導弾(64MAT) です。



64MATは、地上に発射機を設置し、発射した後に目視で標的に誘導します。先述の富士総合火力演習では平成10年台初旬まで参加していました。射手の誘導で飛翔し目標に命中する様子が見学者からも視認でき、会場を沸かせていました。

64MATは射撃車両に搭載することにより、迅速な射撃陣地への移動や陣地変換をすることが出来ました。現在では既に使用されていませんが、いまだ根強いファンがいる装備品です。

キットはファインモールドさんのもので、今まで発売されていた73式小型トラックに、64MATのパーツが新規に加えられたものです。7月に発売されたので、夏季休暇間の3日間で一気に完成させました。

作りながら小学生の頃に、高田駐屯地で見た姿を思い出しました。あれからもう40年近く経つか・・・(遠い目)





ジープの後にいかにも「ミサイルでっせ！」と主張するその姿に心を奪われた方も多かったと思います。現在使用されているミサイルは箱型のコンテナに入った状態から射撃されるので、その姿を見ることが少なくなりましたね。



移動時はこのようにコンテナを後に回転させて収納します。この状態で発射したら乗員は大変なことになるのですが・・・





後方より車内を見る。後部座席前にある黒い箱が射撃装置で、操作手がミサイルを発射し、前方の助手席の誘導手が前にある双眼鏡で目標を狙い、ミサイルをジョイスティックで誘導し標的に命中させます。命中させるには、当然練習が必要なのだそうです。やはり日々訓練ですね。



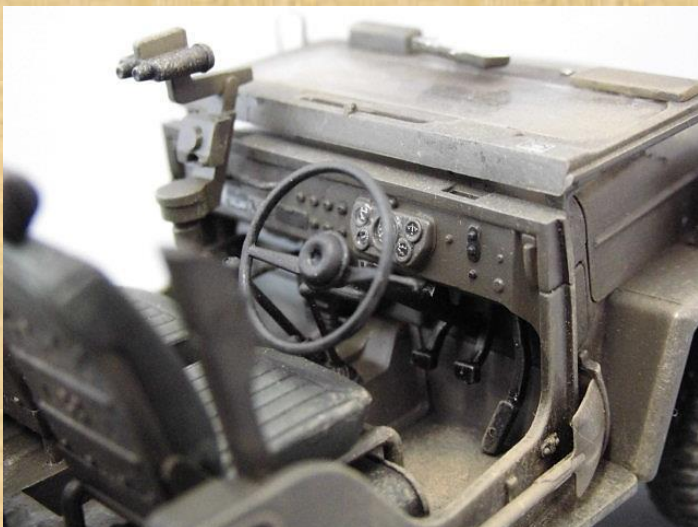
ミサイルの拡大写真です。コンテナそれぞれに器材番号が付与されています。左側面には発射角度を確認するための目盛りが記入されています。

ミサイル本体に記入されている青い表示は弾種を示しており、青は演習弾(訓練弾)です。ミリタリー雑誌にも掲載されていますが、色の表示は米国を中心とした西側諸国とほぼ一緒ですね。

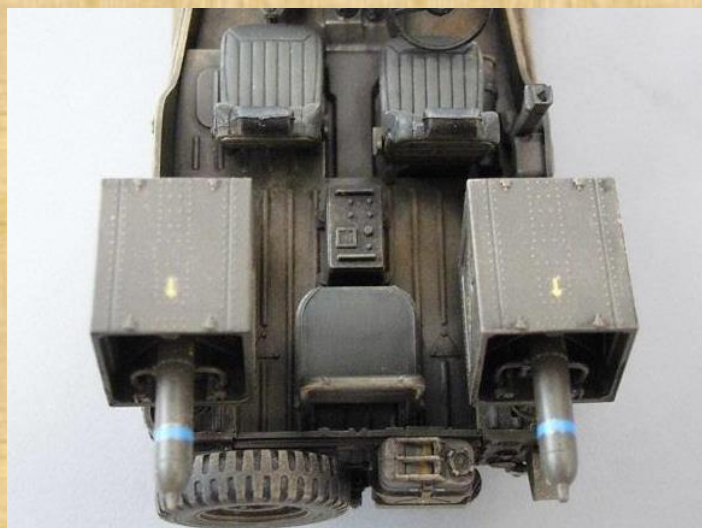




ミサイル発射機を正面から見る。実はミサイルの安定翼には、細かな表示があり、デカールを貼り付けているのですが、組み上げてしまうと見えません・・・あの苦労はなんだったのだろう(泣)



運転席もよく取材されており、忠実に再現されてます。操縦席パネルと折りたたんだフロントウインドの間にある四角い穴はフロントウインドに風を送るデフロスターの通気口です。ここまで再現するか・・・フロントウインドは土埃が被った表現にするため、ウェザリングスティックを薄く延ばしてます。

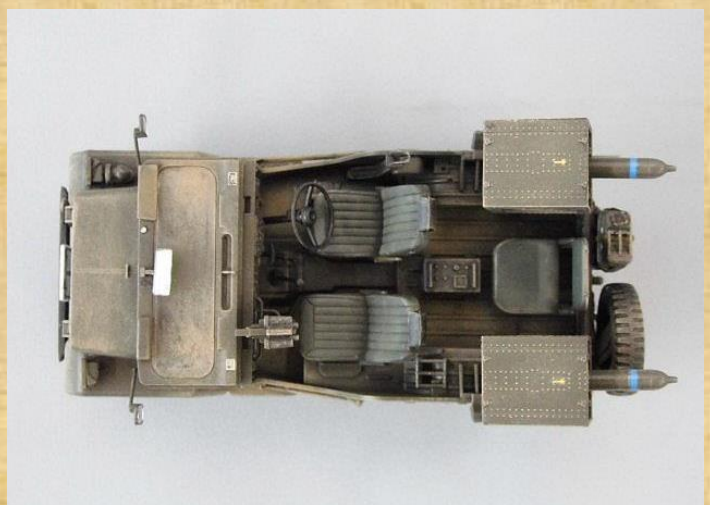
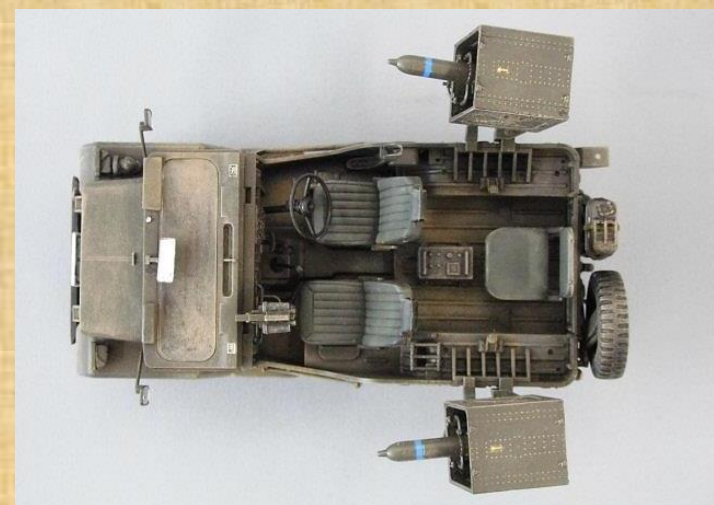


車内底部は乗員が歩き回るため、当然泥などがこびりつきます。ウェザリングスティックをウェザリングブラシでこすり付けます。今回初めてウェザリングブラシを購入して使ってみました。今までは平筆を使っていたので、これは便利ですね。





実車のテールランプや方向指示器は、色の付いたクリアレンズの上に更に透明カバーが被っているの  
で、シルバー→クリアーレッド(オレンジ)→クリアー(無色)と重ね塗りをします。でも、あまり分からない(泣)



射撃状態と格納状態を上から見た光景です。射撃方向は若干車体から外側を向いています。しかし、  
誘導手の真横をミサイルが通過するわけですから、怖いと思うのは私だけでしょうか？



今まで紹介してきたジープと並べてみました。なかなか壮観な眺め(笑)  
さて、今回はここまで。そうだ、最後に、**自衛隊を受験される皆さん、頑張ってくださいね！！**